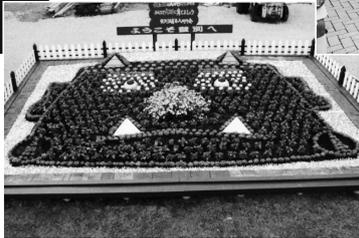




▼サミットを歓迎して作成された幌別鉄南第八町内会の花壇

▲サミット開催100日前イベントとして来馬公園で行われた『ペットボトルキャンドルナイト』



▲アメリカ政府代表団を郷土芸能や演奏でおもてなしした歓迎セレモニー

登別を国内外にアピールすることができました。
また、750個の使用済みペットボトルを集めて行われた『ペットボトルキャンドルナイト』や『環境標語・環境カレンダーパネル展』、『ごども環境サミット』などの環境問題に関する催しが行われ、地球環境に対する意識が高まりました。

この市民自治推進委員会には、全体会議、運営委員会、6つの部会が設置され、平成21年1月末現在で71人が登録しています。
今年度の主な取り組みは、『登別市立図書館』、『驚別地区の活性化事業、ステップアップ事業、地元観光地の体験事業』、『家電等の不法投棄防止』に関して、市に提言を行いました。
市民自治推進委員会では、もともと多くの市民の皆さんに市民自治を考えていただくために実行委員会を立ち上げ、昨年引き続き3月1日(日)に市民会館で、ニセコ町職員の片山健也さんを講師に招き、市民自治フォーラムを開催することとしていま



▲昨年初めて行われた『市民自治フォーラム』

市民自治を目指して

す。

戸籍事務の電算化開始

市の戸籍はこれまで紙で保管されていましたが、西いぶり広域連合の共同電算に伴い、電算化が行われました。

コンピューター処理により戸籍の作成や証明書の発行などにかかる時間を短縮し、市民の皆さんへのサービスの向上を図っています。

電算化に伴い、『戸籍謄本』は『戸籍の全部事項証明書』に、『戸籍抄本』は『戸籍の個人事項証明書』に名称が変わりました。

市税などのコンビニ収納が開始

ライフスタイルの多様化に対応するため、『いつでも、どこでも』市税・料金などの納付ができるように、金融機関、郵便局、市役所本庁舎や各支所窓口に加えて、今年度から全国の主要コンビニエンスストアで納付できるようになりました。

また、平日に納税相談に来られない方を対象に、夜間・土曜日の納税相談窓口を毎月設け、納付しやすい環境作りに取り組んでいます。

登別温泉地区で地上デジタル放送が見られるようになりました

平成23年7月24日までに今までの

地上アナログ放送が終了します。

今年度、登別温泉地区を対象として電波を発信する登別中継局が開局しました。

幌別、驚別、登別東の各中継局から電波を受けている地区のデジタル化は、平成22年度を予定しています。

レジ袋有料化の協定を締結

登別・室蘭・伊達の3市は、地球にやさしいエコライフを確立するため、レジ袋削減の趣旨に理解していただいた3市内の9社31店舗と、マイバック運動を進めている3市の消費者協会との間で協定を締結しました。

この協定の締結により、協定した事業店舗におけるレジ袋の無料配布が中止になりました(平成20年9月末現在のマイバック持参率は82・1(88・95%)。)



▲地球にやさしいエコライフを確立するために行われた『レジ袋削減に関する協定調印式』